【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成19年6月14日(2007.6.14)

【公開番号】特開2006-48124(P2006-48124A)
【公開日】平成18年2月16日(2006.2.16)
【年通号数】公開・登録公報2006-007
【出願番号】特願2004-224042(P2004-224042)
【国際特許分類】
*Ｇ０６Ｋ　17/00　(2006.01)*
*Ｈ０４Ｎ　5/907　(2006.01)*
*Ｇ０６Ｋ　19/077　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｋ　17/00　C
Ｈ０４Ｎ　5/907　B
Ｇ０６Ｋ　19/00　K

【手続補正書】
【提出日】平成19年4月19日(2007.4.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
データ通信先の電子機器に接続されるデータ通信端子群を有し、
上記データ通信端子群は、
筐体の端部に設けられた端部データ通信端子と、
上記端部データ通信端子よりも上記筐体の中央側に当該端部データ通信端子と並ぶようにして設けられた中央側データ通信端子と
を具えることを特徴とする通信装置。
【請求項２】
上記電子機器から上記データ通信端子群を介して受信したデータを記憶するメモリを具える
ことを特徴とする請求項１に記載の通信装置。
【請求項３】
上記通信装置は、
上記電子機器により上記端部データ通信端子を介して読み出されるデータであって、上記端部データ通信端子及び上記中央側データ通信端子の両方を介してデータ通信し得るか否かを示した上記データを記憶する記憶手段を具える
ことを特徴とする請求項１に記載の通信装置。
【請求項４】
上記電子機器と上記端部データ通信端子を介してデータを送受する第１のデータ送受部と、
上記電子機器と上記中央側データ通信端子を介してデータを送受する第２のデータ送受部と
上記端部データ通信端子のみを介して上記電子機器とデータ通信する場合、上記第２のデータ送受部側からのデータを上記電子機器に対して出力させないように制御する出力制御手段と

を具えることを特徴とする請求項１に記載の通信装置。
【請求項５】
通信装置の筐体の端部に設けられた端部データ通信端子及び上記端部データ通信端子よりも上記筐体の中央側に当該端部データ通信端子と並ぶようにして設けられた中央側データ通信端子からなるデータ通信端子群を介して、上記通信装置とデータ通信する電子機器であって、
上記通信装置の記憶手段に記憶される、上記端部データ通信端子及び上記中央側データ通信端子の両方を介してデータ通信し得るか否かを示したデータを、上記記憶手段から上記端部データ通信端子を介して読み出す読出手段と、
上記読出手段により読み出した上記データに基づいて、上記通信装置が上記端部データ通信端子及び上記中央側データ通信端子の両方を介してデータ通信し得ることを認識した場合、当該端部データ通信端子及び当該中央側データ通信端子の両方を介して上記通信装置とデータ通信する通信手段と
を具えることを特徴とする電子機器。
【請求項６】
電子機器と、当該電子機器とデータ通信する通信装置とからなる通信システムであって、
上記通信装置は、
上記電子機器に接続されるデータ通信端子群を有し、
上記データ通信端子群は、
上記通信装置の筐体の端部に設けられた端部データ通信端子と、
上記端部データ通信端子よりも上記筐体の中央側に当該端部データ通信端子と並ぶようにして設けられた中央側データ通信端子と
を具えることを特徴とする通信システム。
【請求項７】
上記通信装置は、
上記電子機器から上記データ通信端子群を介して受信したデータを記憶するメモリを具える
ことを特徴とする請求項６に記載の通信システム。
【請求項８】
上記通信装置は、
上記端部データ通信端子及び上記中央側データ通信端子の両方を介してデータ通信し得るか否かを示したデータを記憶する記憶手段
を具え、
上記電子機器は、
上記通信装置の上記記憶手段に記憶される上記データを、上記端部データ通信端子を介して読み出す読出手段と、
上記読出手段により読み出した上記データに基づいて、上記通信装置が上記端部データ通信端子及び上記中央側データ通信端子の両方を介してデータ通信し得ることを認識した場合、当該端部データ通信端子及び当該中央側データ通信端子の両方を介して上記通信装置とデータ通信する通信手段と
を具えることを特徴とする請求項６に記載の通信システム。
【請求項９】
上記通信装置は、
上記電子機器と上記端部データ通信端子を介してデータを送受する第１のデータ送受部と、
上記電子機器と上記中央側データ通信端子を介してデータを送受する第２のデータ送受部と
上記端部データ通信端子のみを介して上記電子機器とデータ通信する場合、上記第２のデータ送受部側からのデータを上記電子機器に対して出力させないように制御する出力制

御手段と
　を具えることを特徴とする請求項６に記載の通信システム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】通信装置、電子機器及び通信システム
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
　本発明は通信装置、電子機器及び通信システムに関し、例えば、デジタルスチルカメラ等の電子機器に装着されている際に当該電子機器から送出されるデータを受信し、これを内部の半導体メモリに記憶し得るようになされた半導体記憶装置に適用して好適なものである。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５９】
　本発明は以上の点を考慮してなされたもので、データ転送クロックの周波数を上げることなくデータ転送速度を向上させることができる通信装置、電子機器及び通信システムを提案しようとするものである。